

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針 ①	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を作成するに当たり、保護者や地域の実態・ニーズを踏まえて設定している。	<p>① 46% ② 54%</p>	<p>肯定的な評価（①そう思う＋②だいたいそう思う）が教職員100%・保護者94%・無回答含まなければ地域100%となっている。この項目については、概ね良好であると考えられる。しかし、昨年度に比べ保護者と地域の評価については①の割合が下がり、⑤の割合は増えている。保護者、地域のニーズを明確に捉えていくことが課題である。</p>
	生徒			<p>課題解決への方策</p> <p>情報の発信源が配布物だけにとどまらず、C4th等のメールシステムを活用し対応してきた。また、学校だより等は地域活動推進課の回覧を活用し、地域に情報を発信している。学校のホームページの活用も行っているが、日常的な情報を載せて閲覧者を増やしていき、有効な発信源としてコミュニケーションの場にしていきたい。今後も学校運営協議会を通じて保護者のニーズを汲み取る方策を考えていく。</p>
	保護者	学校は、保護者のニーズをとらえて学校教育目標や教育方針を設定している。	<p>① 23% ② 71% ③ 5% ④ 1% ⑤ 0%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>長引くコロナ禍の中、社会全体が変わろうとしている。行事等の参観が元に戻りつつある今、伝統ある学校の歴史にも配慮されていて目標、教育方針の重点を詳細に設定されている。地域の声も分かりやすく反映されている。保護者の評価を上げるためには、保護者への情報発信の仕方考える必要がある。保護者はもとより、地域の共通理解を広め、さらに目標が共有できることを願う。</p>
	地域	学校は、地域の声を反映して学校教育目標や教育方針を設定している。	<p>① 50% ② 38% ③ 0% ④ 0% ⑤ 12%</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針 ②	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を、保護者や地域住民に広く周知している。	<p>①27% ②62% ③11%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>肯定的な評価は生徒90%・保護者96%となっており、昨年度よりポイントを上げている。保護者と地域の肯定的評価は80%を上回っているものの昨年度よりもポイントを落とし、90%を下回っている。昨年度に比べ、生徒、保護者に広く周知できたことは評価できる。しかし、教職員や地域の方には未だに学校公開や行事に制限がかかっていることが影響していると考えられる。</p>
	生徒	私は、学校教育目標を知っている。	<p>①49% ②41% ③8% ④3%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>日々の指導の場面で学校教育目標を意識させ、学校教育目標に触れる機会を増やしていった。また、各学年だより、学級便りでも教育目標や教育方針に触れてもらった。朝会や集会等で校長先生の講話について生徒が振り返る時間を設定したり、学校行事の目標やスローガンを決めるときにも意識させたことは効果的であったと考える。今後も継続して働きかけていく、さらにホームページも有効活用していく。</p>
	保護者	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<p>①45% ②51% ③3% ④0.5% ⑤0.5%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>学校便りの地域回覧・ホームページの配信等により学校生活の様子や行事・部活動の情報等「地域の中学校」として徐々に浸透していると思われる。学校の行事が復活していく様子をホームページで知ることができる。ホームページの活用は有効な手段であるため、こまめに更新する必要がある。今後学校からの発信がどのように進化していくのか楽しみである。</p>
	地域	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<p>①69% ②13% ③13% ⑤5%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
教育課程・学習指導 ③	教職員	教職員は、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<table border="1"> <tr> <th>評価項目</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>42%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>58%</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>0%</td> </tr> </table>	評価項目	割合	①	42%	②	58%	③	0%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>肯定的な評価は教職員100%、生徒95%であり、教員がわかりやすい授業を行うために努力を続けていることがわかる。特に生徒は、昨年度よりポイントを伸ばし60%が①そう思うと答えており、わかりやすく工夫された授業が実践されている。今後は家庭学習の重要性について生徒に話をしたり、効果的な家庭学習について生徒が学べる機会を提供できるとよいと思われる。</p>
	評価項目	割合														
	①	42%														
	②	58%														
③	0%															
④	0%															
⑤	0%															
生徒	先生方は、わかりやすく工夫した授業をしている。	<table border="1"> <tr> <th>評価項目</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>35%</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>1%</td> </tr> </table>	評価項目	割合	①	60%	②	35%	③	3%	④	1%	⑤	1%	<p>課題解決への方策</p> <p>学び合い学習の授業改善は進んでおり、一方的な答えの伝え合いではなく自力で考える時間の確保を大切にすることで学力向上に繋がっていきたい。学習習慣がなかなか定着しない生徒のために小学校と協働して、6年生が中学校の教員が作成した問題を解く等の試みを検討していただきたい。</p>	
評価項目	割合															
①	60%															
②	35%															
③	3%															
④	1%															
⑤	1%															
保護者			<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>コロナ禍では、授業の指導内容も変化する中、先生方の熱意と労力の結果が授業の質を高める。授業の事前の準備や様々な工夫により「わかりやすい授業」を行うことの成果が評価に繋がっている。学び合い学習も通常の形に戻つつあるので、生徒たちは楽しそうに授業を受けている様子である。リモートやタブレットによるICT教育も慣れてきて、より深い知識・視野を得て学んでいる。休みの生徒や臨時休業時のオンライン授業も積極的に行われているようである。</p>													
地域																

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導 ④	教職員	生徒は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員、生徒、保護者ともに肯定的な評価の割合は90%を越え高く、教職員、生徒に関しては①そう思うと答えた割合は昨年度に比べ上ってきている。一方、授業中静かにしているが深く学べていない生徒がいることは課題である。今後とも「学び合い学習」を推進し、分からないことを聴き合える集団づくりに励まされたい。</p>
	生徒	私は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>教師自身が生徒の話を最後まで聴くことを大切にしたい。そのことで生徒も仲間の意見を最後まで聴くことができる。話を聞くことが難しい生徒に対しては、指示を視覚的にわかりやすく提示することも有効と考える。聞いた内容をきちんと取り込み理解できるように授業の導入等を工夫していくことも大切である。</p>
	保護者	生徒は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>授業参観を通じて、いつも生徒たちは、落ち着いて楽しそうに意欲的に授業に取り組んでいる。「学び合い学習」を推進し工夫・研究された授業によって、生徒は興味深く探究心を持って学習に集中している。学び合いは向上している。しかし、授業の取組には個人差が大きく、それが学力の差に反映されているように感じる。さらなる学力の向上を図るために家庭学習の習慣が必要である。そのために定期テスト前だけではなく、定期的に課題を出すことを考えてはどうだろうか。</p>
	地域	生徒は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑤	教職員	教職員は、生徒の問題行動等に対して、組織的に、毅然とした態度で対応している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員・生徒・保護者の評価は95%以上が肯定的なものであり、教職員の対応に概ね満足している様子が見取れる。教職員の努力が結果に表れていると考える。しかし、生徒の評価は①そう思うが66%と高い割合を示しているが、保護者は36%と昨年度よりもポイントを下げている。保護者が学校教育に深く関心をもっていただけるよう情報発信が必要である。</p>
	生徒	先生方は、いじめやトラブルなどの問題に対して、きちんと指導してくれる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>今年度、生徒指導部と教育相談部会において、協力体制を強化し、全職員の共通理解を徹底した。いじめ対策検討委員会を立ち上げて、学校全体で生徒指導に対応する体制を整えた。また、不登校生徒の対応など個々の生徒に対する共通理解を図った。これら教職員の献身的な努力に支えられ、生徒たちの信頼を得ることができていると考えている。今後もさらに学校全体で生徒指導に当たる体制を整えていきたい。</p>
	保護者	教職員は、生徒が学校の決まりや集団生活・社会生活でのルールやマナーなどが守れるよう指導している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>SNSの使い方の指導やいじめ対策等の生徒指導が良くなされている。教職員共通の「生徒理解」を基本に据えた生徒指導により、教職員や学校への信頼は徐々に高まっていると思われる。不登校に対してはコロナの影響が大きいと考えられる。家庭での様子を先生と保護者と話せる機会がもう少しあればと思う。とはいえ、今後も一人一人の生徒に寄り添い、生きる力・自立する力の指導と支援をしていただきたい。家庭の環境変化による生活態度の乱れや、小さなサインを見逃さず情報共有をして地域でも見守っていきたい。</p>
	地域			

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
	教職員	生徒は、学校の決まりを守り、学校生活を送っている。	<p>①24% ②72% ③4%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員、生徒の肯定的評価は昨年度よりポイントを上げており、保護者も含め、95%を越えている。特に生徒は①そう思うとの回答が65%となった。生徒は確実に落ち着いてた学校生活を送り、成長していると考えられる。地域は無回答を除けば100%となっている。高い評価であるが、保護者・地域の①のポイントが落ちている。今後は「決まり」の更新について生徒会発信で進めていければと考えている。</p>
生徒指導・規律ある態度 ⑥	生徒	私は学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>①65% ②33% ③2%</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>学校生活における決まりやルールの意義や意味について、生徒会発信で生徒に考えさせ、主体的に決まりを守る態度を育成していく。生徒会や委員会活動、また特別活動を活用し計画的に進めていく。今年度、完全に制限を無くした学校行事とはならず、PTAの活動も縮小傾向のなか、保護者の評価は肯定的である。今後PTAを中心とした保護者との協力体制を強化していきたい。</p>
	保護者	生徒は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>①30% ②66% ③3% ⑤1%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>鶴ヶ島中学校の生徒たちは、全体的に素直で中学生らしい、元気で良い子という印象がある。きまりを守って学校生活が楽しいと思う生徒が多いように思える。正しい生活習慣を身につけること等々、学校だからできること学校でしかできない経験を通じて成長していく。日光街道清掃、花植等の際、学校応援団員のちょっとした手助けに、多くの生徒から「ありがとうございます」の感謝の言葉を聞いた。このようなことを大切にしてもらいたい。自転車の規則がとても厳しくなっている。どこでもマナー、規則が守れる生徒を目指してほしい。正しい生活習慣を身につけること、SNSによる誹謗中傷をしないこと、友達への思いやりの気持ちを持つこと等々、学校だからできること、学校でしかできない経験を通じて成長して欲しい。</p> <p>学校での様子と外での様子に違いがあるのか、保護者・地域の評価が下がっていることが気になる。</p>
	地域	生徒は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>①19% ②56% ⑤25%</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑦	教職員	生徒は校内ですすんであいさつをしている。	<p>① 12% ② 48% ③ 40%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員、保護者の評価は傾向は同じだが、昨年度よりもポイントを落としている。①そう思うの評価は保護者で10ポイント程度下がった。また、地域の評価は肯定評価は69%となり昨年度の100%から大きく後退した。しかし生徒の評価は非常に高く、昨年度よりも肯定評価のポイントはあがっている。現状で満足している生徒に対し、進歩を求める大人たちとのギャップが生じている状況である。</p>
	生徒	私は、すすんであいさつをしている。	<p>① 57% ② 35% ③ 8%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>保護者や地域の評価では「とても良くあいさつしてくれて感激した」との意見もあり、評価が分かれている。教職員も良くあいさつをする生徒や場面を認識しているが、教師からのあいさつにあいさつを返せない生徒もいる。人間的なコミュニケーションを身につけるためにも継続的なあいさつ指導は必要であり、学級活動の時間を活用してソーシャルスキルトレーニングを計画していく。あいさつの意義や大切さを随時教えていく必要がある。</p>
	保護者	生徒は、家族や近所の人ですすんであいさつをしている。	<p>① 18% ② 56% ③ 25% ⑤ 1%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>あいさつをしてくれる生徒が多いと感じる方がいるようだ。あいさつは家庭の中でできないと難しい。まずは家の中から始めてほしい。先生方の登校時の立哨指導、生徒会活動のあいさつ運動も良好であり、学校生活では概ね気持ちの良いあいさつができていないのではないかと感じている。小学校とのあいさつ運動も継続できるとよい。先生方の評価が下がってきているが、誰にでも分け隔てなくあいさつできることを目指してほしい。まずは大人から進んであいさつを交わりたいものである。大人が手本となり、一往復半の会話、あいさつも積極的に行う「ありがとう増進運動」を推進する。地域の大人が声をかけて自然にあいさつを掛け合えばよい社会になっていくはずである。</p>
	地域	生徒は、地域の人ですすんであいさつをしている。	<p>① 25% ② 44% ③ 19% ⑤ 6%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
安 全 全 ⑧	教職員	学校は、登下校時の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>① 12% ② 60% ③ 28%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員の肯定的評価は、昨年度より22ポイントも下がり、72%であった。しかし、生徒・保護者の評価は昨年度とほぼ変わらず、地域の肯定的評価は88%と12ポイント上昇した。教職員評価から、安全対策においては改善すべきところが残っているということである。今後、安全な登下校指導、不審者対応に取り組んで行く必要がある。</p>
	生徒	安全に、安心して登下校できる。	<p>① 76% ② 19% ③ 4% ④ 1% ⑤ 1%</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>交通安全対策に関して今後交通安全教室を実施し、立哨指導など行っていきたい。しかし、登下校における安全面の確保は、教職員としては限界がある。そこで、ボランティアとして定期的に保護者・地域に協力を仰ぎ、登下校を見守る取り組みを実施していきたい。また、年度当初に登下校ルートを提出させ、安全への意識を高めることも有効と考える。学活の授業で、登下校に関する指導を行い、安全への意識を持たせたい。</p>
	保護者	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>① 22% ② 57% ③ 19% ④ 1% ⑤ 1%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>安全指導を継続的に取り組んでいることが功を奏しているのだと思う。不審者情報などの情報を発信してくれることはとてもいい取組である。不審者情報を共有して地域とともに見守っていく。中学校は小学校と違い、毎日の登下校時の立哨指導はないので、時間を合わせて散歩や買い物に出ている。今後保護者や地域の協力による組織的な見守り活動が検討されることを願う。通学路の整備が遅れているように思える。安全面を考えれば信号なしの歩道橋がほしいところである。登下校時の危険場所の確認や交通指導については定期的に行う必要がある。</p>
	地域	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>① 38% ② 50% ③ 6% ④ 6%</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑨	教職員	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>① 38% ② 58% ③ 4%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員、保護者ともに肯定的な評価は95%を越えている。しかし、①そう思うの割合は昨年度と比べると教職員で12ポイント、保護者で22ポイント下がっている。地域は①の割合は50%であり否定的評価は0%であった。無回答が昨年度と比較して20ポイント増えている。</p>
	生徒			<p>課題解決への方策</p> <p>学校は情報の発信を充実させている。今後は、C4th、プリントでの学級通信や学年だよりの配布だけではなく、ホームページも使って、家庭への通知等が漏れなく行われるようにしていきたい。3年間ものコロナ禍の影響により、自治会等との関わりが希薄になってしまったが、地域との活動で現在行われている活動や、社会福祉協議会との連携授業を、今後も継続して行ってほしい。</p>
	保護者	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>① 31% ② 64% ③ 5%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>学校便りの回覧やホームページ等の情報発信により現状把握ができる。学校行事や土曜授業参観などが行われ、開かれた「地域の中の学校」である。地域の方々にもっと見ていただくには、ホームページの更新をもう少し頻繁にいただき、充実させる必要があると思う。日光街道の清掃活動は、学校関係者の活動にとどまらず、地域の活動と有機的に結びつけ、継続して行えると良いと思う。長引くコロナ禍の制限が徐々に解除されてきているので次年度に期待したい。</p>
	地域	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>① 50% ② 25% ⑤ 25%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑩	教職員	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員の肯定的評価は84%であり、昨年に比べ16ポイントと大きく下がった。保護者は83%で変化はなかった。地域については行事等の制約が完全に回復できずいたためか、無回答が13%となった。しかし、日光街道清掃やPTAの植栽、学校ファーム等、学校応援団からの協力は今年度も充実したものであった。昨年度と比べポイントが下がったのは、昨年度の75周年イベントの開催が今年度はないからのようだ。</p>
	生徒			<p>課題解決への方策</p> <p>地域清掃やボランティア活動について、生徒の地域貢献や地域の人材の活用は行えたと考える。日光街道清掃やPTAの植栽、学校ファーム等学校応援団に協力していただき教育活動への活用はできている。今後、地域との窓口を教頭とし、市で共有されている人材バンクを有効活用できるように、地域の方をお願いしやすい環境を整えていく。</p>
	保護者	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>保護者の方々は地域の方々と上手に連携を取り活動されて折り、地域の連携は大変良いと思う。地域の高齢者とのボランティア活動は鶴中生として素晴らしいことである。自主活動の推進も良く指導されている。地域貢献として立派である。地域の方からも高く評価されている。年齢とともに大変な(おっくうな)ことも増えてくるので、自分にできることを考えて無理ないように継続してボランティアに参加していただけたら頼もしい。学校応援団やさらなる人材を適用を望む。また、多くの生徒が自主的に日光街道清掃や植栽等のボランティアに参加しており、今後も継続していただきたい。日光街道清掃のような環境整備には、情報をさらに発信して地域の人材も積極的に参加していただきたい。</p>
	地域	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校環境 ⑪	教職員	学校は、清掃活動や 掲示教育に力を入れる など、組織的に環境美 化に努めている。	<p>①16% ②72% ③12%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果 について の分析・ 課題</p> <p>教職員の肯定的評価は昨年度100%から88%となつた。生徒・保護者の評価は約95%が肯定的であり、昨年度と変わらない。地域も100%肯定的な評価である。今年度は下校時刻の関係から週2日清掃なしの日があるため、先生方の評価に影響が出ているようである。しかし、生徒は①そう思うと62%が評価している。教職員と生徒では清掃への取組の認識にずれがあるようだ。</p>
	生徒	私は学校をきれいに しようと心がけ、清掃 をしている。	<p>①62% ②33% ③4% ⑤1%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決 への方策</p> <p>環境美化や掲示について掲示物を整理し統一感を持たせる等の工夫や指導の充実を進めたい。特別支援教育の視点も考慮したユニバーサルデザインを徹底を図る。また、地域と協力して行った清掃活動やボランティア活動によって、生徒が自ら進んで行う自主性が育成されていると考える。今後は大掃除も地域の方と一緒に進められるような取組を考えていきたい。</p>
	保護者	学校は、清掃活動や 掲示教育に力を入れ、 環境美化に努めてい る。	<p>①35% ②60% ③5%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係 者評価委 員会によ る評価</p> <p>隅々清掃、気づき清掃の意識のもと心も校舎も磨くことが取り組んでいることは素晴らしいと思う。清掃活動は積極的に行い自分たちできれいに使用するという気持ちが伝わってくる。学校の老朽化に負けず生徒が頑張ってくれてくれることはうれしい限りである。気づき清掃の自主的行動が学校の美化だけでなく、生徒の落ち着きや学習にもよい影響を与えているようである。校内の掲示は生徒の作品展示もあり、季節や行事に合わせた心の教育に通じる。各教室それぞれの掲示物に工夫があつて気持ちよく過ごせていると感じる。授業参観で見ると楽しみである。安全面で回答すると鶴中の立地条件は市のほぼ中央に当たり緑に囲まれた最適な環境である。</p>
	地域	学校は、清掃活動や 掲示教育に力を入れ、 環境美化に努めてい る。	<p>①75% ②25%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島 中学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
働き方改革⑫	教職員	⑫学校は、働き方改革を進め、教科指導や教育相談等、直接生徒に係る時間が増えるよう努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>働き方改革により、行事等の縮小が進んでいるが、生徒の活動自体が縮小していくことに問題を感じる。行事の精選や無駄を省くことは必要だが、行事を削ることありきではなく、行事で輝く生徒の活動の場を確保することも考えなくてはならない。行事の実施に当たり、内容ありきの活動では無く目的を先行して内容や実施方法を考え組み立てていくことが必要である。</p>
	生徒		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>今年度、全校で学年道徳に取組、授業を輪番制にしたことは働き方改革に繋がった。また、定期テストを2日間に分けたり、部活動をなくして採点時間を確保する取組は良く、今後も継続していく。行事に関しては、削るのではなく、例年の活動を無理なく実現するために他の業務を簡略化することが必要となる。</p>
	保護者		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>年々評価が下がっていることが大きな問題である。解決に向けての改善策は学校にはないのではないかとと思われる。生徒指導や教育相談的な対応、安全対策や学力向上、体力向上、部活動の対応など仕事が山積みの中、先生方は真摯に生徒たちと向き合っている。管理職の先生はもとより、先生方の負担・ストレス軽減となるような、もっと現場の声を聞き適切な働き方改革を希望する。</p> <p>先生方の負担をできる限り減らすために地域の連携が重要となる。学校では未来を担う生徒一人一人がたくましく生きる力を見に付けるため先生にしかできない教育活動に全力で取り組んでいただきたいと思います。社会全体が大きく変わろうとしている今、地域全体で生徒たちのためにできることは何か、より良い教育環境実現のための話し合いを進めたい。</p>
	地域		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	